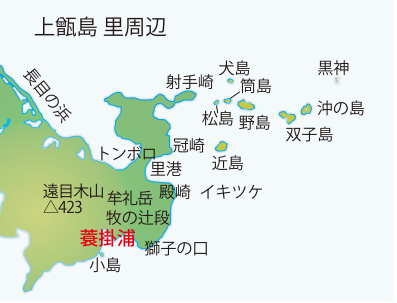




ダブルフックオンリール TDH191(釣研)▼



スムーズな伸縮でラインカッターも扱いやすくて便利!!

秋グロ シーズン序盤の 40超に大満足!!

潮動きがほとんどない、潮止まりの時間帯。マキエサを足元に2杯入れて、沖側(約15m)に、1杯だけ

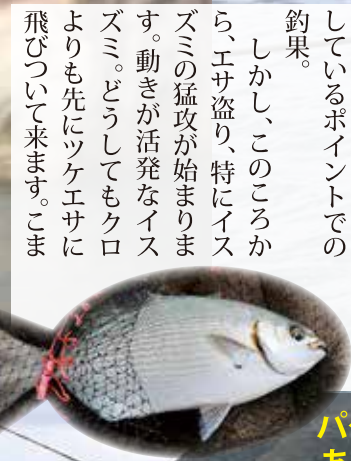
「実釣開始」
潮動きがほとんどない、潮止まりの時間帯。マキエサを足元に2杯入れて、沖側(約15m)に、1杯だけ

今回の釣研の新製品『ゼクトMR・LR』は、バツと見て、大きい・重いと感じますが、実際、磯で使うと、そんなことは全然気にならず、



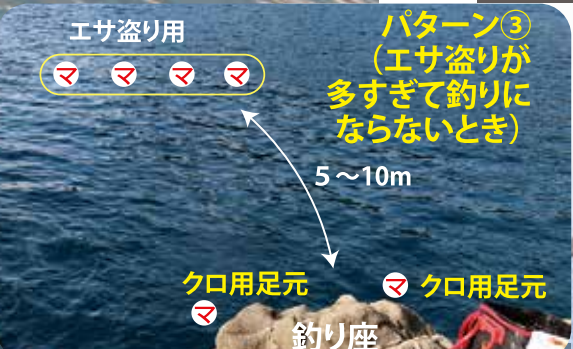
後半、ゼクトMR 0 連続ヒット!!

りました。
とりあえず、足元のマキエサを2杯から3杯に、そして間隔を約1mから2mほどとって、横並びに打ち続けます。クロ用には、沖側に1杯だ

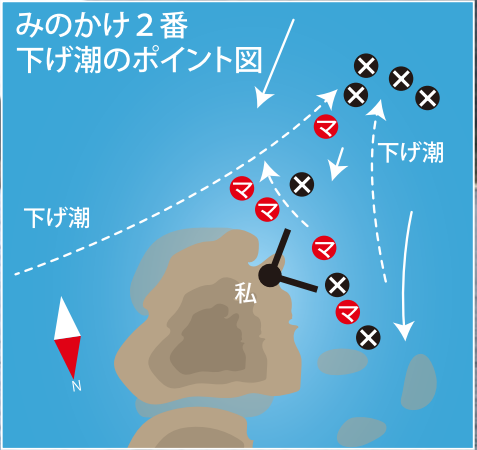


パターン① (エサ盗りが、あまり気にならないとき)

●このやり方が、秋磯でのエサ盗り対策の基本ですが、状況に応じてどんどん変化させます。
●あまり潮が行かないときに順番どおりに、同じ場所に入れて、エサ盗りをこの辺りに釘付けする。クロ用には1杯だけ、仕掛けを入れる前に打ちます。
◎秋磯のクロ釣りは、基本的には、追いマキエサはしません。追いマキエサを入れるときは、③番に入れるのが、理想です(パターン②も同じ)。



パターン③ (エサ盗りが多すぎて釣りにならないとき)
エサ盗りがどうしてもかわせないときは、沖側にエサ盗り用のマキエサを多めに入れて、足元の磯際にクロ用を1杯だけ入れて、瀬際釣りに徹するやり方。このとき、大事なのは仕掛けて、ウキ下は50cm前後で、ハリ上に2B～3Bのオモリを打って、瀬際に完全に止めて、アタリを待ちます。もちろんウキも2B～3Bを使います。
鹿兒島では「南方瀬際釣法」として、昔からある釣り方で「ミャク釣り」とか、大隅半島の船間・内之浦では言われますが、少しウキ下が深く、2ヒロ前後ほどの仕掛けで、ドン深の磯際に釣って、クロを狙います。
鹿兒島の離島などで、クロを狙うときに、磯際の小さな払い出しや、サランのつけ根の部分を狙って、完全に止めて、クロを狙うやり方で、クロ釣り漁師の方々が、カツオの1本釣りみたいに、ごぼう抜きでクロを釣り上げて、1日で百匹前後を釣って、出荷する話を聞いたことがあります(飯島のクロ釣り漁師)。



パターン② (エサ盗り対策をしなくてはいけなるとき)
潮が左から右に流れているときは、潮下の①番に1杯だけマキエサを入れて、魚を確認。次に②番にマキエサを2杯入れて魚を確認。そして、本命のクロ用にマキエサを1杯だけ入れて、すぐ③番にマキエサを2～3杯入れて、仕掛けをクロ用に遠投します。追いマキエサは、入れません。

パターン② (エサ盗り対策をしなくてはいけなるとき)



ハリは色と号数をかえていきます。